

# 令和2年度 刈谷市 共存・協働のまちづくり推進委員会 第3回夢ファンド部会 記録

日時：令和2年 11月6日（金）  
午後 1時30分～午後2時40分  
場所：社会教育センター301 研修室

## 出席者

団体名・役職等	氏 名
刈谷市民ボランティア活動センター センター長	米田 正寛
名城大学 教授	昇 秀樹
一般公募	杉戸 真
NPO 法人刈谷おもちゃ病院	長澤 勇夫
防災ママかきつばた 代表	高木 一恵
刈谷市商店街連盟 広報・IT委員長	鱸 裕介

## 欠席者

団体名・役職等	氏 名
刈谷市公民館連絡協議会 書記	小川 行皓
刈谷市婦人会連絡協議会 会計	加藤 京子

## 事務局

所 属	補 職 名	氏 名
市民活動部市民協働課	課長	石川 領子
市民活動部市民協働課	課長補佐兼地域支援係長	酒井 聡
市民活動部市民協働課	協働推進係長	酒井 武士
市民活動部市民協働課	主任主査	下島 大樹
NPO法人ボランタリーネイバーズ	副理事長・調査研究部長	三島 知斗世
NPO法人ボランタリーネイバーズ	理事・相談事業部チーフディレクター	遠山 涼子

## 1 開会・あいさつ

(1) 定刻になり、協働推進係長が開会を宣した。

(2) 部会長挨拶

- ・アメリカ大統領選挙は、多くの関心を集めていることをご近所の方との会話や市役所内の食堂でニュースを見入る人の様子から感じている。一方、駅前の飲食店や、駅の通路を歩く人はまだ少ないものの、郊外の飲食店は利用者が戻りつつある。
- ・まちづくり活動に3団体応募があった。元気で活力のあるまちづくりを進展させる取り組みに期待し、審査においてみなさんからご意見をいただきたい。

## 2 議題

### (1) かりや夢ファンド補助金公開審査会について

【P1～5】に基づき、事務局より説明を行った。

#### 【公開審査会】

- ・令和3年1月16日（土）13時30分～15時45分 刈谷市民ボランティア活動センターで開催する。
- ・申請件数は、まちづくり活動支援事業補助金が3件である。

#### 【審査の流れ】

- ・団体発表7分、質疑応答7分、感想2分、審査記入2分、計18分とする。本日の意見交換結果はあらかじめ団体に伝え、内容を踏まえた発表を行うよう依頼する。
- ・質問の口火役から質問を始め、2つ目の質問からは自由に質問していただく。
- ・感想役より、団体の今後の活動が活性化するような応援メッセージをいただく。
- ・来場者からの質問は、昨年度の来場者アンケートによる要望を受けて実施する。
- ・審査シートは3団体が終了した時点で、まとめて回収を行う。

#### 【審査の方法】

- ・審査方法は、事業ごとに審査員の合計得点を平均し、会場投票による会場点を加算して最終得点を決定する。
- ・基準点に達している事業の上位から予算枠に達するまで申請額の満額補助とする。
- ・基準点を満たしていない事業は理由を明確にした上で不採択とする。
- ・補助金交付の対象団体として認定された団体は、4月以降に交付申請を提出していただく。
- ・事業の企画・運営・申請額等に再検討を必要とする判断したものは「条件付」とし、指摘のポイントを整理する。後日フォローアップ調査を行い、審査委員長、部会長と協議のうえ、推進委員会の議題として取り上げ採否を判断する。

#### 【公開審査会プログラム】

- ・審査員は集合13時に集合する。13時30分に開会し、15時45分閉会予定。審査結果は当日公表する。

#### 【審査シート】

- ・審査の視点5項目について、5段階評価25点満点で審査を行う。
- ・審査表に記入いただくコメントは、無記名で取りまとめ、応援メッセージとして団体へ伝える。

### ■質問・意見交換

#### 【申請状況】

委員：まちづくり活動支援事業について、今年度から5万円以下の場合は書面審査のみに変更となったが、申請はなかったか。また、NPO法人設立支援事業とまちづくりびと支援事業についても応募がなかったということか。

事務局：まちづくり活動支援事業の5万円以下とNPO法人設立支援事業いずれも応募はなかった。まちづくりびと支援事業は通年で募集をしているが、現時点では応募はない。

委員：まちづくり活動支援事業の提案事業に関して、満額採択できる予算が確保されているか。

事務局：3件の補助申請額総額の予算確保を予定している。

#### 【プログラム進行等】

委員：「審査員説明」とは、どんな内容を予定しているか。

事務局：進行や審査方法等について、直前の確認をするほか、展示PRパネル見学の時間として予定している。

委員：結果発表の開始時間は、来場者にわかりやすく15時30分開始としてほしい。

事務局：応募が3団体のため、審議時間を例年より短く45分としたが、きりがよい時間ということで、15時30分からの開始に変更する。

委員：PRパネル展示について、ロビーからボラセン会場内に移すのか。

事務局：公開審査会前日までは市民交流センター1階のロビーに展示し、当日会場内に移す予定である。

## (2)申請書類の確認について

**【P6、審査員用資料】に基づき事務局より説明を行った後、事前質問に向けた意見交換を行った。**

まちづくり活動支援事業は、申請3件、申請金額が512,000円である。

### ■意見交換

#### 【FG 依佐美ランナースクラブ／“聖火リレーを体験しませんか”】

委員：参加資格「障がい者の介助はしません、自己責任で参加」について。団体の状況により、対応できない事情は理解できるが、「介助の必要な方は、ご自身でご準備をお願いします」など、文章のトーンを和らげることを事務局から助言としてお伝えいただきたい。

#### (開催概要)

委員：「トーチ3本を用いて、20m単位でリレーする」とあるが、実際にどのようにリレーを行うのか。具体的にイメージできるよう、公園内のコース設定など会場図案を示していただけるとよい。公園使用料や仮設リースについて、詳細内訳を説明いただけるとよい。

事務局：申請時から内容について相談いただいていた。開催内容をイメージしやすいよう、公開審査会では具体的に提案していただくよう依頼する。

#### (運営体制)

委員：ボランティアスタッフなどの募集予定はあるか。支出費目のゼッケン数から、400人の参加が予定されている。規模が大きいイベントとなるので、当日参加者の受付体制や、ボランティア体制について説明いただきたい。

委員：ボランティアスタッフの体制に加えて、研修等の実施予定についても確認したい。

部会長：ボランティアには、会員だけでなく多くの人を巻き込んでほしい。市民ボランティアや他の団体から参加につながると盛り上がる。

#### (記念Tシャツの活用)

委員：「記念Tシャツ」100枚について、誰に渡すのか、数字の根拠をお示しいただきたい。

委員：デザインを公募してもらおうと、盛り上がりを感じた。

委員：ボランティアへのお礼として渡す場合はよいが、参加者に渡す場合は参加費として一部費用を徴収するとよい。

(リスク対応)

委員：雨天時の対応についてどのようにお考えか。企画運営において大切な点であるので説明いただきたい。

委員：6月下旬は梅雨時なので、上旬までに行えると天候の影響が少ないのではないか。

(聖火トーチ・ランナー)

委員：協働団体として、聖火ランナーの個人名が挙げられている。調べたところ、「鈴木俊介さん」のお名前は聖火ランナーとして確認ができなかった。鈴木さんを介して、どのようにトーチを確保するか、説明いただきたい。

部会長：聖火トーチの予算が計上されていないが、費用は見込まなくて問題ないか。

事務局：聖火トーチはランナーが個人で買い取る仕組みであり、買い取った個人から借りる予定と聞いている。

委員：聖火トーチには、火は点けないということでよいか。

事務局：火がついているような演出は予定されている。

委員：単年度の事業として採択することでよろしいか。採択されれば1年で活動は終了するということがか。

事務局：そう聞いている。

#### 【特定非営利活動法人 Green Trust / 刈谷市内・市道道路付属物等の点検及び補修方法の提言】

(企業とNPOの活動区分)

委員：1回目の申請では、企業とNPOの活動を区分することを伝えさせてもらった。勤務時間や活動時間をどのように区分して対応しているか。

事務局：採択時に企業活動には交付できないことを伝えた。事業実施中であるため、現時点の状況は把握していないが、報告書が提出される年度末時点で確認をとる。

委員：条件が付されたということか。

事務局：採択条件ではない。

委員：1回目の調査実績と、それをふまえて今年度の調査対象や場所をどのように想定するか、プレゼンで報告いただきたい。

委員：1回目の申請において企業とNPOの活動区分について協議・確認した。留意した事項について、今年度の実施状況をプレゼンで説明いただきたい。また、支出のうち40万円以上が巡回諸経費、事務処理費用などの委託費の委託先は確認しているか。

事務局：名阪興業株式会社に委託すると予定と聞いている。

委員：市の補助金がNPOから株式会社に委託料として支払われることになるため、株式会社とNPOの活動を明瞭に区分していただく必要がある。営利企業の業務でなく、NPOの活動としていることを明らかにする必要がある。

事務局：1回目の申請状況として、活動実績と企業活動NPO活動と区分し、プレゼンで報告していただく。

(資金確保)

委員：2年間補助した後、3年目はどのように資金を獲得して継続するか、資金の目途がたたなければ提言をやめてしまうのか、プレゼンで報告してほしい。

(協働予定の担当課の見解確認)

委員：協働する予定の団体として名前の挙がっている刈谷市担当課の考えを確認していただきたい。仮に、随意契約で受託することになるとしたら、補助金が誘導したことになりかねない。

事務局：担当課から以前聞き取ったところでは、「提言は受け取るが、直ちに対応することは

ない。参考になる情報があれば、事業に組み入れることはある。」と確認している。

### 【泉田郷土研究会／『泉田の歴史』冊子発行事業】

(冊子の制作過程)

委員：冊子の試作案を提示していただきたい。回覧板の記事をもとに冊子にまとめる上で写真を加えたり、イラストで図式化するなど、本を作るテクニックや工夫が必要となる。専門家やスキルを持つ方の協力を得られる体制を確認したい。

(販売方法・周知方法)

委員：200冊分を1冊500円で販売するというので10万円が収益計上されているが、特定の地域の歴史をまとめた冊子の価格として、500円は妥当か。

委員：1冊あたり印刷費は640円であり、コストは回収できない。

部会長：高須地区において、地域の歴史をまとめた冊子がある。昔の地形図やかつての田んぼや河口、埋め立て地などの情報が防災の資料として参考になる。新聞紙面で知り、新聞販売店で購入した。今回も泉田地区だけでなく、他の地区で購入したい人に対して、市内各地で購入できたり、ホームニュースや新聞など活用して広く情報を届ける展開を期待したい。また、そうした内容を盛り込んで報告いただきたい。

委員：販売の方法は確認したい。支出に広告宣伝費を見込むなど、対策を講じるとよい。仮に販売できない場合、収益として見込む10万円は誰が負担するのか。

事務局：冊子をどのように周知するか。具体的な方法について提案いただく。

(学校への展開)

委員：地域について熱心に勉強され、成果がまとめられていると思う。学生らとの勉強会に積極的に取り組むとあるが、これまで5年間の活動で同様の取り組み実績があるか。前例があれば、実績を教えてください。また、学校の参加につなげる方法として、推進委員の教育分野の方との連携が考えられる。自分たちのまちの歴史について、総合学習などの機会を実施した事例があると、マッチングが上手くいくのではないかと。デジタルな社会の今、アナログにまちを知る機会は逆の発想としておもしろい。未来予測が立つようなワクワクするプレゼンを聴けるとよい。

### ■委員による意見交換を受けて、事前質問内容を以下の通り確認した。

団体名	事業名	質問等
FG 依佐美ランナーズクラブ	“聖火リレーを体験しませんか”	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聖火リレー（約20m）体験」とは、具体的にどのように行いますか。レイアウトなどで視覚的にわかりやすくご紹介ください。</li> <li>・雨天時の対応について、どのように考えていますか。対策をご説明ください。</li> <li>・ボランティアスタッフを確保する予定はありますか。参加者400人を予定していると思いますが、当日どのように体制をとるかご説明ください。その場合、ボランティアに対する研修等はどのように予定しますか。</li> <li>・記念Tシャツ100枚とは、ボランティアスタッフに配付する予定数ですか。参加者に配付する場合は、一部有料とすることを検討してはどうでしょうか。</li> <li>・記念Tシャツのデザインを市民に募集する考えはありますか。</li> <li>・公園使用料に関して、公園の使う範囲を提示してコースをご説明ください。また、仮設リースについても用途をご説明ください。</li> <li>・ボランティアに他団体を巻き込むと盛り上がると思いますが、参加の拡がりについてどう考えているかご説明ください。</li> <li>・協働相手の聖火ランナーについて紹介してください。</li> </ul>

<p>特定非営利活動法人 Green Trust</p>	<p>刈谷市内・市道道路付属物等の点検及び補修方法の提言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に採択され、今年度実施している事業について、実績をご説明ください。また、営利企業の活動とNPO法人の活動区分について、中間報告の段階でいいので、営利企業としての活動時間とNPO法人の活動時間をご提示ください。</li> <li>・今年度の実績をふまえて、来年度の調査対象はどのように設定していきますか。</li> <li>・3年目以降は補助金がなくなりますが、活動はどのように継続していく予定でしょうか。収支計画をふまえてご説明ください。</li> </ul>
<p>泉田郷土研究会</p>	<p>『泉田の歴史』冊子発行事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成物がイメージできるものとして、試作案などをご提示ください。</li> <li>・回覧板で紹介していた記事をもとに冊子にする過程で、イラストや文章編集等が必要になると思いますが、作業体制や進め方についてご説明ください。</li> <li>・500円の価格設定について。地区の歴史に関する内容のため一部の方に関心が限られないか心配だが、関心のある層を広げ、購入につなぐ工夫があればお聞かせください。また、広報の方法について予定する取り組みをお聞かせください。</li> <li>・高須地区で制作された冊子を新聞店で購入できる例もあり、地区以外の方が知る機会や入手できる方法について、新聞等での周知や、販売場所を設けるといった対応についてどのようにお考えでしょうか。</li> <li>・仮に販売できない場合、収益として見込む10万円はどうなるのか、収支計画をふまえてご説明ください。</li> <li>・学校の授業への参加について、これまでの実績があればご紹介ください。また、今後は、具体的にどのように連携を図るご予定かお聞かせください。</li> </ul>

### (3)公開審査会のプレゼン順について

■部会長が抽選を行い、プレゼン順を以下の通り決定した。

#### まちづくり活動支援事業補助金

1	特定非営利活動法人 Green Trust
2	FG 依佐美ランナーズクラブ
3	泉田郷土研究会

## 3. その他

### (1) 次回開催日

第4回夢ファンド部会（公開審査会）

令和3年1月16日（土）13時30分から（審査員集合は13時）

刈谷市民ボランティア活動センター

※公開審査会当日は、オンラインでの開催は予定していない。

※申請資料は、本日の議論を踏まえて組み替えたものを後日送付する。